

# ビー通信

2018.6.15

.発行

通巻号

No.21

## 個別支援計画

吉田朱美

年度末になると利用者さん一人一人の仕事や生活についての希望(ニーズ)を聞きながら実現させるための計画と一緒に作ります。その計画を個別支援計画といいます。

ビー・カンパニーは働く場なので働くことに関するニーズが主ですが、働く事と生活は切っても切れず、例えば、作業所が楽しく仕事が充実していても、介護してくれる親が年を取り介護が出来なくなったらこれまでのように家から仕事に行く生活は出来なくなりま

す。本人が望むのならそのまま家庭で過ごせるような支援が必要になるからです。

障害を持つ人が自分の望む人生を送るにはどのような支援が必要か、ニーズに沿って支援者がこうやって支援しますという計画の事であり、

支援者がちゃんと支援したかを問うのがモニタリングです。

目標が達成されてなかったら、頑張らなかった利用者さんの問題ではなくて、なぜ達成されなかったのか、支援方法が合っていないかったのでは、又は利用者さん本人の課題・ニーズがちゃんと把握出来てなかったのではと考えていくべきものです。

勿論本人がなすべきことはあります。がこの計画は本人が普通に暮らそうと思った時、障がいのできで思うようにいかない事が出てきた時に本人の意思と持っている力を使いながらどういう方法で支えて実現させて行くのかという計画です。普通に暮らすのに障害を持つ者だけが力を振り絞って生きて行かなければならぬということ自体が不平等で特別な頑張りを強いるものであってはいけないと思います。

個別支援計画は仕事や生活を自分の望む形に近づけて行き、自分らしい生き方ができる事を応援する道具と考え活用していきましょう。

## 餅つき&新成人を祝う会

青木裕麻



一月二十日（土）餅つき&新成人を祝う会を行いました。

当日、ビー・カンパニーのスタッフは、玄関で来てくださった方々のお迎えをしたり、豚汁と餅を配ったり、受付などそれぞれ役割を持ちました。

会は十一時に始まり中庭では餅をついてもらうための準備をしてそれが終わったら、餅をついていききました。それが終わるのを待って中庭につきたい人が順番に並んで、杵についていききました。

杵は障害を持った仲間や、小さなお子さんがつけるように小さな杵が用意されました。中庭から聞こえてくる声を聞いていたら「よいしょよいしょ」という声が聞こえてきてにぎやかだと思いました。



スタッフの中には「生まれて初めて餅をついたというスタッフもいました。順番を待っているスタッフやつかなかったスタッフはビー・カンパニーに久しぶりに来て下さった方と楽しそうに話していました。

また、「餅や豚汁は行き渡っている」のかなどを気にしながら餅がつかれていく様子を見て楽しみながら食べているスタッフもいました。

その後に、今年成人を迎えた小坂井麻衣さんにお祝いとして、ビー・カンパニーから髪飾りと花束が贈られました。代表して髪飾りを吉村友里さん、花束を磯邊百華さんが贈りました。贈られた後、拍手が起こり温かい雰囲気になりました。

最後に、ビー・カンパニーのスタッフの林さんがお子さんたちのリクエストに答えて「はらぺこあおむし」の読み聞かせをしました。

その後、またそれぞれ話をして3時になったので、お開きになりました。



## 初詣に行って

新宮有紀



歳末たすけあい援助事業の助成を受けて、ビー・カンパニーのみんなで二月二日に愛知県の豊川稲荷へ初詣にでかけました。名鉄岐阜駅から豊川稲荷まで、名鉄電車で行きました。以前は、駅員さんがついていないとホームへ行けなかったようですが、今は障害を持っている人が自分達だけで行けるようになり、楽になったなと思いました。

豊川稲荷に到着してから、すぐにお昼ご飯を食べました。とんかつ、味噌カツ、カレーなど、揚げ物のお店でした。前もって注文していたので、待たずに美味しく食べることができました。

その後、参拝に行きました。境内で手を清めたり、賽銭を入れて願い事を心の中で言ったりしました。その他、霊狐塚で写真撮影をして、最後にはおみくじを買って



いる人もいました。

自由行動では、お土産を買ったり、食べ歩きをしたり、それぞれ楽しい時間を過ごしました。私は、お土産にあられを買いました。

自由行動が終わった時、一つ感じたことがあります。普段なかなか来られない場所なので、

「もう少しゆっくり散策したかったな。」と思いました。

名鉄岐阜駅に帰る途中、電車の事故の影響で、予定より帰る時間が遅れてしまい、私は少し疲れました。

今回は、少しトラブルがありました。しかし、何より全員が楽しく安全に初詣に行くことができました。本当に良かったと思います。





## 道三まつりに行ってきた！！

赤石 幸久

四月七日、八日に行われた道三まつりを見にバスで行ってきました。

両日とも、雨が降り寒い中で道三まつりが開かれ七日には、神輿や、模擬店などの販売が行われ、かなりお客さんでにぎわっていました。また、七日には、FC岐阜の試合もテレビで中継されブースの中でやっていたので少しの間見てしまいました。

大人の神輿がいっぱい出ていて、威勢のいい掛け声が迫力がありました。子供がかついていた神輿は車輪があり可愛かったです。

市立岐阜商業や県立岐阜商業の生徒さんの神輿もあり、その生徒さんの中に野球のユニフォーム姿の生徒さんを間近で見た瞬間、高校野球の好きな自分としては、球場以外でユニフォーム姿が見れて、感動のあまり少し涙が出てし

まりました。

二日目は救急車の展示や競輪の自転車の展示、屋台しかなく何かさびしく感じました。

僕は二日間とも屋台で昼食を済ませ、一日目は、たこ焼きと三十ｃｍあるフランクフルトを、二日目は、串カツとどて、富士宮やきそばを買っ

て食べました。初めて富士宮やきそばを食べたのですが、いつもの焼きそばと違って麺がモチモチして美味しかったです。

食べ終わった後ブラブラしてたら、ボランティアでお世話になっている知人と、その友偶然おあいしてお茶等飲み少し話しをして別れました。

それから寒かったのでバスに乗って帰りました。

二日間とも、ビー・カンパニーのジャムやロウソクを売っていたので、売れているかどうか気になってちよくちよく顔を出して売れているかどうか聞きました。「ジャムは売れているがロウソクはあまり売れてない。」と言われました。

楽しかったので、今年の秋の信長祭や来年の道三まつりにまた、行きたいと思います。



## ビー・カンあれこれ

その他のこのところのビー・カンの様子をお知らせします。

### 駐車場やきいも販売

冬場毎週火曜日にビー・カンパニーの北側駐車場にテントを立てて、焼き芋を中心にジャムやチョコレート等の販売をしました。

二人から三人一組で1時間交代で販売に立ちます。

今年は空前の焼き芋ブーム。当店も鳴門金時以外に「シルクスイート」

「紅はるか」「寛太くん」をさっそく仕入れてねっとりクリーミーに焼き上げ販売しました。

焼き上がりの時間に常連客がよく買いに来て頂けました。



### 大カルタ取り大会で団体賞受賞

記念すべき第三〇回大会で終盤の団体戦をつっかいぼうチームとして参戦し優勝して記念品と賞状頂きました。

「今年は取る！」と気合を入れ直し作戦を立てて挑みました。今年

はテレビや新聞に久々に取り上げられました。



### 昨年みんなで植えたアジサイは・・・

秋にすっかり葉が落ちて枝だけになっていたアジサイは、春になり芽が吹いて、今は青々と葉が茂ってきています。背丈も伸びています。この夏もう少し成長したら、秋のふれあいまつり



にはアジサイの苗木として販売出来るかなと思います。来年の今頃から白い大玉の花を咲かせてくれる予定です。



## 今年のジャムは・・・

ご近所の方のお世話でビー・カンパニーの近くに畑を借りることが出来ました。ジャムの原材料になる植物の種を先日植えました。

一つハイビスカスで発芽しました。もう一種類が食用ほうずきですがまだ、発芽が待ち遠しいです。

今年は原材料からお手製のジャムが出来そうです。

また畑の仕事も入りますが、ビー・カンパニーとしてうまく取り組んでいけたらいいなと願っています。

新作のジャムが完成しました。以前よりいちごのジャム望まれるお客さんが見えたのですが、農薬不使用のいちごが手に入ら

なくて製造できませんでした。

今回製造したジャムは、農薬不使用ではありませんが農薬を出来る限り減らして栽培を心がけている農家さんより分けて頂き、今年、初めて「摘みたて苺」が完成しました！！

90円入り ￥380にて、店頭にて販売しています。



## 新人紹介

井波海太

今年からお世話になります井波海太です。実習でつよくビー・カンパニーで働きたいと思いました。まだまだ分からないことがたくさんあるので仲間や職員さんに聞いて楽しく仕事を頑張りたいです。よろしくお願いします。

山口 圭吾

4月の途中より、ビー・カンパニーのスタッフになりました。分らないことも多く、皆さんに教えてもらいながら働いて行きたいです。



## 新作出来ました！！

見た目と香りで、

夏らしさを

感じられるキャンドル

火を灯してもキレイです



4種類 各 700円

## 夏の贈り物におすすめ商品です 原材料と製法にこだわったジャム

保存料、着色料等は一切使用せず、原料に近くミネラルや独自の風味のある粗製糖をつかっています。

出来る限り農薬を使わずに育てた果物や野菜のおいしさが引き出せるように一つ一つの工程を大切に作ります。

パンには勿論、かき氷や冷たいスイーツ作りにも重宝です。

贈答用に2個入箱と

3個入箱あります



## 編集後記

先日、東京オリンピックピックの時に外国人観光客への日本の「おもてなし」の一つとして新型タクシー車両が導入され、背の高い外国人でもゆとりと乗車できると好評を得ているテレビ番組を見ていました。トヨタの開発チームが出演し、



開発時の色々な苦労や思いが放送されていたのですが、その中で一番驚いたのがこの車両、なんと、横から健常者が乗ると同じように車イス（電動もＯＫ）に乗ったまま、後部座席に大人１人と車イスの方１名が同時に乗れるとの事！！介護タクシーと違い、運転手は基本、乗車・下車だけのサポートするようです。それだけでは、困る方もいるとは思いますが車イスの方の移動の自由度が広がったのかなと思います。番組には続きがあり、一人の車イスの女性がタクシーを止め乗るといった実験をしたのですが、１台目と２台目は乗車しようとしたのですが、スロープの設置や固定ベルトのやり方が分らず乗車不可となり、３台目ようやく乗車できたのですが、乗るだけで１７分もかかっていました。認知度もまだまだで、運転手の技能まだまだで、これからかなって思いました。ビックイイベントがあるときは、色々なものが急速に発展するのいいですね！！

服部 昌紀

障害者自立センターつかいぼう設立30周年記念企画

講演

# 障害者の 自立って何？

講師

熊谷晋一郎さん



1977 年山口県新南陽市生まれ。新生児仮死の後遺症で脳性麻痺となり、車椅子生活を送る。小・中学校と普通学校で統合教育を経験し、東京大学医学部を卒業。小児科医として病院勤務を経て 2015 年より東京大学先端科学技術研究センター准教授。障害者の立場で当事者研究を行っている。

著書「リハビリの夜」新潮ドキュメント賞「つながりの作法 同じでもなく 違うでもなく」その他

30 年前岐阜市内の古い民家を借り毎週末に在宅・施設・病院に暮らす障害者が集まって合宿のように日々を過ごし様々な取り組みをしてきました。働く場所としてつながり亭（現・就労継続支援B型のビー・カンパニー）のオープン。介護派遣事業所つかいぼうの開設。他にはキャンプやかると取り大会などです。いずれも社会の一員として暮らすことを願ってであります。30 周年を迎えることができたのも多くの方々のご支援とご協力があったからこそであります。心から御礼申し上げます。ところが、そのような私達や多くの仲間が全国各地で営む地域で共に生きようという取り組みを問うような事件がいくつも起きてしまいました。

神奈川県相模原市の障害者施設「やまゆり園」で多数の人たちが死傷した事件。また、大阪府寝屋川市や兵庫県三田市で 20 年以上十分な食事も与えられず半裸状態で軟禁されていたことが判明しました。また不良な子孫の発生を防止するとした優生保護法によって行われた強制不妊手術が大きく報道されています。これらは私たちが求める地域社会で人として生きることとは全く逆のものです。障害者の存在が否定される社会とは何を意味するのでしょうか。障害者の自立とは社会にとって、また人と人の関係においてどんな意味があるのでしょうか。

東京大学先端科学科の熊谷晋一郎さんをお迎えして自立について皆さんと一緒に考えたいと思います。ぜひ多くの方のご参加をお願いいたします。

日 時 7月15日（日） 13:00～16:00

13:30 主催者あいさつ 13:40 講演会 15:10 休憩 15:20 質疑応答 16:00 終了

会 場 じゅうろくプラザ 中会議室2

〒500-8856 岐阜市橋本町1丁目10番地11 TEL. 058-262-0150（代）

参加費 無 料

主 催 特定非営利活動法人障害者自立センターつかいぼう

連絡先 岐阜市早田東町8丁目4-1 パセール長良103号

TEL. 058-215-7374 FAX. 058-296-5343 E-mail : [tsukkaibo@ip.mirai.ne.jp](mailto:tsukkaibo@ip.mirai.ne.jp)

編集発行 就労継続支援B型事業所ビー・カンパニー

住所 岐阜市古市場79-1 Tel 058-214-8114・Fax 058-214-8447 e-mail [be-company@tsukkaibo.com](mailto:be-company@tsukkaibo.com)